



みられることから、緩やかに回復している。

- コンビニエンスストア販売  
飲料等に動きがみられることから、堅調となっている。
- ドラッグストア販売  
品揃えの拡充により飲食料品に動きがみられることから、好調となっている。
- ホームセンター販売  
リフォーム資材等に動きがみられることから、堅調となっている。
- 家電大型専門店販売  
4Kテレビ等に動きがみられることから、緩やかに回復しつつある。
- 新車販売台数  
小型乗用車は前年を下回っているものの、普通乗用車、軽自動車は前年を上回っており、回復しつつある。
- 主要観光地の来訪客数  
前年を下回っている。
- 主要温泉地の宿泊客数  
前年を下回っている。
- 設備投資  
製造業、非製造業ともに30年度は増加見込みとなっている。
- 住宅建設  
新設住宅着工数は緩やかに回復している。
- 公共事業  
前払金保証請負金額は前年を下回っている。
- 生産  
電子部品・デバイスはスマートフォン向けを中心に拡大している。

繊維は、非衣料向けが堅調となっているほか、衣料向けに動きがみられることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

化学は、合成樹脂等の化学製品が緩やかに回復しているほか、医療品が持ち直しつつあることから、

<b>本日(1月22日)の例会</b> 武生府中RCとの 合同新年会 18:00～ うおとめ	1月29日 職業奉仕月間にあたって 職業奉仕委員長 三田村士郎会員	2月5日 休 会	2月12日 第一例会行事 新入会員卓話 木下仁史会員
---	--	-------------	-------------------------------------

全体では緩やかに持ち直している。  
 その他の工業（眼鏡枠及び部品）は、国内向け、海外からのOEM受注ともに弱い動きとなっている。  
 輸送機械（自動車部品）は、拡大のテンポが緩やかになっている。

プラスチック部品は、建築資材、産業資材ともに持ち直しつつある。

非鉄金属（アルミ圧延製品）は、飲料向けを中心に拡大に向けた動きに一服感がみられる。

- 企業収益  
製造業、非製造業ともに増加見込みとなっている。規模別では、大企業、中堅企業が増益見込み、中小企業が減益見込みとなっている。
- 企業の景況感  
現状判断（30年10～12月期）は、製造業は「上昇」と「下降」が均衡し、非製造業は「下降」超となっている。なお、先行きは、全産業では31年1～3月期で「下降」超となる見通しとなっており、31年4～6月期も「下降」超となる見通しとなっている。
- 雇用情勢  
有効求人倍率は上昇しており、着実に改善し人手不足感が強まっている。
- 金融機関の貸出金  
前年を上回っている。
- 企業倒産  
負債総額は前年を下回っているものの、件数は上回っている。
- 消費者物価  
前年を上回っている。

**ニコニコ箱 …… 22,000円 累計 974,000円**

- ・土井様卓話よろしくお願いたします。  
【田中大成】【佐々木忠彦】【田中 茂】  
【三村昌之】【三田村久光】【上野 巖】
- ・今年もよろしく。 【谷尾榮一】
- ・ちょっと。 【宮前貴司】
- ・いつもすみません。 【渡辺哲広】
- ・来週の合同新年会、お待ちしております。 【西本久美子】
- ・今日もたくさんのニコニコありがとうございます。 【今村清孝】

**例会変更情報／福井県内ビジター受付（1月23日～2月5日）**

1月24日 武生府中RC 12:00～12:30 JA越前たけふ農協会館1階  
 2月 5日 福井フェニックスRC 18:00～18:30 ザ・グランユアーズフクイ1F  
 \*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

2018-2019  
RIテーマ



インスピレーションになる

創 立／1954年（昭和29年）6月30日  
 事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内  
 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

例会日／毎週火曜日  
 会 長／田 中 大 成

例会場／武生商工会館  
 幹 事／三田村 久 光  
 会報委員長／塩 田 憲 康



**第3113回 例会記録 平成31年1月15日(火)**

本日出席会員34名

メイクアップ（前々回） 6名  
 出席率（前々回補正） 71.15%

会員総数  
**51名**

ロータリーソング「我等の生業」

ゲスト 福井財務事務所長 土井康行氏

**会長挨拶 第65代会長 田中大成**



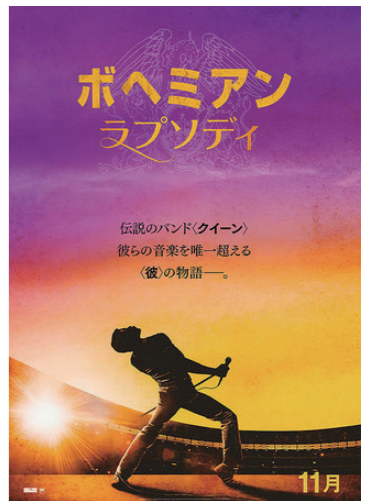
まず、ゲストの紹介をさせていただきます。福井財務事務所長 土井康行様です。福井県内の経済情勢という題で、今日の卓話をお願いしています。

先週、県外へ年始の挨拶に行ってきましたが、年明け早々の世界株安、急激な円高等波乱の幕開けだったと思います。今年は大変になるのかなと思っていましたが、色々な人の話を聞くと、東京も関西も総じて悪くないような気がしました。ただ、福井がどうなるかは、土井所長の話をご参考にしたいと思います。

ただ、大変景気の良い話があります。映画の話ですが、映画『ボヘミアン・ラブソディ』が1月6日(日)までに、国内動員610万人、興行収入84億円を突破したことがわかりました。『ボヘミアン・ラブソディ』は、ロックバンド・クイーンのボーカル＝フレディ・マーキュリーの生きざまを描きだした伝記映画です。1月6日までの累計興行収入は『ジュラシック・ワールド2 炎の王国』（81億円）を抜き、2018年公開洋画興行収入ランキング第1位に踊り出しています。特徴的

なのは、リピーターが多いということです。いまだに劇場は休日などほぼ満席です。

また、1月6日(日)までの世界興収は、7億4,370万6,115ドル（804億6,305万1,994円）に到達しています。さらに、『ボヘミアン・ラブソディ』は1月7日に発表された第76回ゴールデングローブ賞にて、最優秀作品賞（映画ドラマ部門）、最優秀主演男優賞（ラミ・マレック）の2部門で受賞を果たしています。映画のみならず、サントラ盤、過去のCD、書籍など、多方面にわたり、経済効果が出ている



ようです。来場者不振だった映画館が潤い、音楽関連企業もまた潤い、まさに印税の入る関係者だけではなく、あらゆる所でWIN・WINの流れができていくという、ひとつの良い見本ではないかと思えます。

来月5日の第一例会は会議所が使えないため、12日とさせていただきます。

**プログラム**

ゲスト卓話

「福井県内の経済情勢について」

福井財務事務所長 土井康行氏

「福井県内経済情勢」

県内経済は、緩やかに拡大しつつある。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、景気が緩やかに拡大していくことが期待される。

ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性などのほか、人手不足に伴う企業活動への影響について留意する必要がある。

- 百貨店・スーパー販売  
衣料品の動きが鈍いものの、飲食料品等に動きが